

HD DVD 製品への展開

Growing World of HD DVD Products

巻頭言

高精細デジタル新時代を切り開く HD DVD 製品

HD DVD Products Opening up a New High-Definition Digital Era

ローンチ(打上げ)後5か月が過ぎた2006年9月現在, HD DVDはうまく軌道に乗っているようです。2段目ロケットならぬ第2世代HD DVDプレーヤの発売も予定されています。まだ気を抜ける状態ではありませんが, 東芝がどのような製品を商品化したかご紹介したく, この特集を組みました。

世界220社以上が参加する世界標準化団体“DVDフォーラム”で, 次世代DVDの規格化が行われることが決まったのは2002年のことでした。当社は日本電気(株)と共に, 後にHD DVDと呼ばれる方式を提案し, 2003年の1層15Gバイトと2層30GバイトのHD DVD-ROMを皮切りに, 次々と規格化を進めていったのです。現在では, 再生専用ディスクと記録・再生ディスクのそれぞれにつき, ディスク規格, ファイルシステム規格, アプリケーション規格, テスト規格など, 必要な規格が完備しており, HD DVDは, DVDフォーラムで認められた唯一の次世代DVD規格となっています。

HD DVDの最大の特長は, 高速・大容量と低コスト化の両立です。具体的には, (1)青色レーザーダイオードによる記録密度の向上と, 高度な記録・再生信号処理技術及び最先端の画像・音声符号化方式により, 片面2層のHD DVD-ROMの場合で高精細映像を8時間以上収録(収録時間はデータ速度により異なります)できるようにし, (2)現行のDVDと同じ0.6mmの基板2枚のはり合せ構造を採用することで現行のDVD製造装置の流用を可能にするとともに, 高信頼性(そりなどに強い)・高生産性を実現しました。更に, 高度なインタラクティブ機能, 最先端の著作権保護機能, パソコンとの親和性など, 次世代DVDにふさわしい特長を備えています。

こうして2004年から本格的な開発に入り, 当社技術陣の総力を挙げて実現したのがこの特集で紹介しているHD DVD商品群です。ローンチにふさわしい品ぞろえができたと自負しています。

なお, HD DVDをいち早く商品化できたのは当社だけの努力ではありません。既に100タイトルを超えるコンテンツを商品化していただいた日米の映画会社, 制作スタジオ, 製盤会社, 製品化に協力いただいたMicrosoft Corporation, 日本電気(株), Intel Corporation, Broadcom Corporation, Analog Devices, Inc., HD DVD-Rメディアを商品化いただいた三菱化学メディア(株), 日立マクセル(株), 及び著作権保護方式AACsを規格化された方々に深く感謝いたします。



神竹 孝至
KAMITAKE Takashi